

## 報告書抄録

ふりがな	あわづだい3かいづか2・しぜんりゅうろ2							
書名	粟津第3貝塚2・自然流路2							
シリーズ名	琵琶湖開発事業関連埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ番号	13							
編著者名	瀬口 真司・小竹森 直子 植田 弥生 (株式会社パレオ・ラボ) ヘイリー・ソール、オリヴァー・クレイグ、カール・ヘロン (ヨーク大学)、 西田泰民 (新潟県立歴史博物館)							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課 / 公益財団法人滋賀県文化財保護協会							
所在地	滋賀県大津市京町四丁目1番1号 / 滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2							
発行年月日	平成25年(2013年)3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査面積	調査期間	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
あわづこてい 粟津湖底遺跡	おおおつせいらん 大津市晴嵐 地先	25201	201-191	34度58分53秒	135度54分28秒	8,900㎡	1990.05.31 ～ 1991.08.12	航路新設 工事に伴 う事前調 査
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構	主な遺物	特記事項		
粟津湖底遺跡	貝塚	縄文時代中期前葉		貝塚	獣骨・魚骨・ 炭化木材	動植物遺体の全量分析 炭化木材の樹種同定 石器組成分析		
	自然流路	縄文時代早期前葉		自然流路 クリ塚	縄文土器	大鼻式～大川式の追加資料		
要 約	<p>粟津湖底遺跡には少なくとも3か所に小貝塚が形成されており、その内の第3貝塚について全面発掘を行った。縄文時代中期前葉の土器・石器・骨角器・漆器など多様な遺物だけではなく、水中にあったことから極めて良好な状態で動植物遺存体が出土した。この動植物遺存体の定量分析結果は粟津湖底遺跡Ⅰで報告したところであり、本書では全量分析の結果を踏まえてカロリー換算とその比率について再検討を行った。あわせて、炭化物・炭化木材の樹種同定の結果から、燃料材としては周辺に群生していたことが復元できるアカガシ亜属を多用し、主要食糧資源であるトチノキ・イチイガシは燃料材としてはほとんど利用していないことが判明した。</p> <p>また、石器組成については、貝塚を巡る生活サイクルとの関連性についての視点を踏まえ分析を試みた。</p> <p>自然流路出土の大鼻式～大川式の押型文土器については、粟津湖底遺跡Ⅲで報告したところではあるが、さらに資料を追加するものである。</p>							